

平成 3 1 年 3 月 1 2 日

地方創生に関する調査特別委員会

阿久根市議会

- 1 会 議 名 地方創生に関する調査特別委員会
- 2 日 時 平成31年3月12日（火） 14時30分開会
15時45分閉会
- 3 場 所 議場
- 4 出席委員 岩崎健二委員長、白石純一副委員長、
濱田洋一委員、西田数市委員、仮屋園一徳委員、
竹原恵美委員、中面幸人委員、大田重男委員、
濱崎國治委員、牟田学委員、濱之上大成委員、
山田勝委員、野畑直委員
- 5 欠席委員 渡辺久治委員
- 6 事務局職員 次長兼議事係長 牟田 昇、議事係 大漉 昭裕
- 7 説 明 員
・企画調整課
課 長 山下 友治 君 課長補佐 寺地 英兼 君
- 8 会議に付した事件
・地方創生に関する調査検討
- 9 議事の経過概要 別紙のとおり

審査の経過概要

岩崎健二委員長

ただいまから、地方創生に関する調査特別委員会を開会します。

本日は、先に配布された「笑顔あふれる阿久根市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン及び総合戦略」における平成29年度の事業検証の報告について、所管課である企画調整課に検証を踏まえ、概要説明及び質疑を行いますのでよろしくお願いいたします。

それでは企画調整課の入室をお願いします。

（企画調整課入室）

岩崎健二委員長

それでは、企画調整課の説明を求めます。

山下企画調整課長

それでは、「笑顔あふれる阿久根市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン及び総合戦略」の検証の総括的な事項について御説明申し上げます。

資料の1ページをお開きください。はじめに、概要について申し上げます。

(2)の効果の検証についてであります。総合戦略では4つの基本目標を設定し、この基本目標の下に重点目標を設けるとともに、基本目標と重点目標を達成するための施策、事業を定めております。そして、基本目標には数値目標を、重点目標には重要業績評価指標（KPI）を、また、個別の事業では評価指標をそれぞれ定めて、地方創生に資する取組を実施してきているところであります。これらの目標や事業については、毎年度、庁内や検証委員会によりその実施状況を検証していただいておりますが、今年度は、1月の11日と24日の2日にわたって検証委員会を開催し、平成29年度の実施状況等についてその効果の検証をしたところであります。今回の検証においては、②の方法として、これまでの検証方法を一部見直し、達成度を設定し評価いたしました。具体的には、年度別目標値を設定し、目標に対する実績値の割合を達成度（％）とし、達成度に応じて4段階の評価をすることとしました。この場合の年度別目標値は、イの表にありますように、毎年度一定の数値を設定する「単年」、期間内の累計目標を設定する「累計」、最終年度における水準目標を設定する「最終」の3つに区分しております。

そして、次の2ページになりますが、ウの表のとおり、達成度に応じて達成評価を区分し、100％以上をA、90％以上をB、80％以上をC、80％未満をDとしております。エにその例を示しておりますが、可能な限り事業実施による達成状況を数値化して、客観的に把握することとしております。そして、キに記載のとおり、実施した事業については、達成度を踏まえ、事業の今後の取扱いについて総合評価を行っております。この場合の総合評価は4つであり、◎は、達成度が高く効果があったことから事業推進の意義が大きく内容の充実を図るに適した拡充・深化が適当とするものであり、○は、継続が適当、△は、改善・縮小等が必要、×は中止・廃止が適当とするものであります。

次に、3ページになりますが、(3)の検証結果の概要として、①の基本目標では8つの数値目標について、②の重点目標では41件のKPIについて記載のとおりであります。また、③の実施事業では、51事業について69の指標を設けて達成評価をするとともに、これらの事業について総合評価をしております。総合評価については、◎が19、○は12、△は17事業、×は3事業としております。

以上で概要についての説明を終わり、次は人口の状況について申し上げます。

5ページをお開きください。

はじめに、(1)の人口の推移等ではありますが、表の2-1をごらんください。過去5年間の人口動態の状況であります。2016年（平成28年）までは、自然動態では概ね同じ水準で推移してきておりますが、社会動態では、転入者が減少し転出者は増えており、増減は前年と比較して倍以上の減となっております。

次に、次に基本目標の状況について申し上げます。

7ページをお開きください。はじめに、基本目標の総括についてであります。総合戦略では、記載のとおり4つの基本目標を掲げ、それぞれの基本目標ごとに2つの数値目標を定めております。総括表では、基本目標ごとに8つの数値目標の達成評価を分類しておりますが、合計欄にありますように、Aが1、Bが5、Dが2であり、その内訳は下の表に示すとなっております。このうち、基本目標1についてであります。9ページをお開きください。基本目標1は、「アクネうまいね自然だね」阿久根の「うまい」と「自然」を生かした仕事をつくるであります。数値目標として雇用創出者数と市内総生産額を設けております。雇用創出者数は、5年間で累計100人を掲げており、29年度は60人の目標に対し23人でD評価でありました。また、市内総生産額は、市民所得推計の前々年度の値ですが、基準値の610億円に比べて5%増の640億円を掲げており、29年度は628億円の目標に対し617億5千円で、B評価でありました。

次に、10ページになりますが、基本目標2は、阿久根の「みどこい」を生かした人と人がつながるまちをつくるであり、数値目標として支援策による移住者数と市内観光入込客数を設けております。このうち、支援策による移住者数は、5年間で累計200人を掲げており、29年度は120人の目標に対し135人でA評価でありました。また、年間観光入込客数では、基準値の45万2千人に比べて5%増の52万人を掲げており、29年度は49万2,800人の目標に対し45万2,262人で、B評価でありました。

次に、11ページになりますが、基本目標3は、安心して結婚・出産・子育てができる「笑顔あふれる」まちをつくるであり、数値目標として合計特殊出生率と婚姻数を設けております。合計特殊出生率とは、1人の女性が出産可能とされる15歳から49歳までに産む子供の数の平均を示すものであります。基準値の1.54%に対し計画の最終年度である平成31年度に1.60%にする目標を掲げており、29年度は1.58%の目標に対し1.62%でAでありました。検証委員会では、既に最終目標を上回っていることから、目標を上方修正すべきとの意見があり、今後検討することとしています。また、婚姻数は、基準値の77件に対し、最終85件を掲げており、29年度は81.8件の目標に対し74件でBでありました。

次に、12ページになりますが、基本目標4は、「自然と人が共生する」快適で住みよいまちをつくるであり、数値目標として自主防災組織率と自治会加入率を設けております。自主防災組織率は、基準値80.9%から85%へ引き上げることを掲げており、29年度は83.36%の目標に対し、実績は82.05%でBでありました。また、自治会加入率は、目標を毎年度85%以上を維持することとして修正しておりますが、29年度実績は84.34%でBでありました。

以上で基本目標について終わり、次に重点目標の総括について申し上げます。

13ページをお開きください。重点目標は基本目標を細分化したものであり、4つの基本目標ごとに、それぞれ3つの重点目標を定めております。そして、この重点目標の達成状況について評価するためKPIを設定し、具体的な事業を実施しているところであり。その総括的な状況につきましては、総括表の合計欄に記載のとおり、41のKPIについて達成評価を分類しており、Aが20、Bが5、Cが5、Dが11であり、その内訳や個別の状況については、13ページから27ページにかけて記載のとおりであります。

以上で重点目標の総括について終わり、次に事業の総括について申し上げます。

29ページをお開きください。個別の事業においてもそれぞれ指標を設定し、達成状況について評価を行っており、また、達成評価を踏まえて、庁内や検証委員会で総合評価を行っ

てきたところであります。

その総括的な状況について申し上げます。

表の一番下の合計欄をごらんください。達成評価では、51の事業について69の指標を設けておりますが、Aが34、Bが7、Cが10、Dが18であります。また、総合評価では、庁内評価、検証委員会評価いずれも、51事業のうち、拡充・深化が適当とする◎が19、継続が適当とする○が12、改善・縮小等が必要とする△が17、中止・廃止が適当な×が3としております。これらの個別の事業の状況につきましては、31ページから134ページまでの検証シートに記載のとおりであります。このシートには、表面に事業の概要と目標達成状況を、また、裏面には担当課、庁内、検証委員会の評価をそれぞれ記載しております。

次に、参考資料について申し上げます。

参考資料1は、事業一覧表であり、51事業を基本目標ごとに分類したものでございます。

参考資料の2は、目標ごとの事業評価一覧表であり、例えば、基本目標1の①の事業番号36の新規就農者支援事業では、2つの指標が設定されており、いずれも達成度はDであり、検証委員会の総合評価は△とされております。累計欄は基本項目ごとの事業の評価分類を、また、裏面の一番下の合計欄は全ての事業の評価分類を示しております。

参考資料の3は、事業評価総括表であり、基本項目と重点目標ごとに事業評価を分類したものであり、一番下の合計になります。達成度では、Aが34指標の49.3%、Bが7指標の10.1%、Cが10指標の14.5%、Dが18指標の26.1%であり、総合評価では、◎が19事業の37.3%、○が12事業の23.5%、△が17事業の33.3%、×が3事業の5.9%でありました。

以上で、検証の概要及び総括的な事項についての説明を終わります。どうぞよろしくお願いいたします。

岩崎健二委員長

課長より説明が終わりました。

これより質疑に入ります。

皆さんから何かありませんか。

担当課に対する質疑はありませんか。

野畑直委員

総合戦略検証シートの41ページ、この取組内容についてですね、耕作放棄地を利用して農業生産活動を行った6戸の農業者等への耕作準備に要する経費の一部を助成した。合計面積が2.2ヘクタールとなっておりますけれども、この耕作放棄地を利用した農業生産活動をとはどういったものでしょうか。

岩崎健二委員長

個別の事業については所管課を呼ばないと、個別については回答ができないということで、企画調整課としては総合的な説明をしたということですので、もし、個別の所管課を呼んで調査する必要があるとすればあともって諮りたいと思います。

野畑直委員

この取組内容のスペースがありますので、こういう疑問点があるところはやはり詳細にもうちょっと書いてもらえたらこういう質問はしなくてもいいと思うんですけども。企画調整課長としてこのような説明欄はもう少し説明をしたほうがいいんじゃないかというふうには思われませんか。

山下企画調整課長

取組内容については、事業検証シートの様式がこういう形で今年度から設けたところでございます。ただいまの御意見につきましては、それぞれ個別の事業ごとにある程度のボリュームをもって記載すべきも、あるいは簡潔に記載すべきもの、それぞれあるかと思えます。この事業内容については、今、委員からございましたよう、今後、次の検証の中では御

意見を踏まえて対応を検討してまいりたいと思っていますところ。

岩崎健二委員長

企画調整課長の総括的な説明がありましたが、企画調整課に対する質問はありませんか。

白石純一委員

総合戦略の検証の21ページ、先ほども予算の質疑で質問したんですが、出会い・結婚を支援するですね、これはD評価と。これは目標数値、何人来てほしいということに対してこれだけの人数しか集まらなかったということでDということで、平成29年度で終了ということになってますけれども、先ほど申したようにですね、2組の実際に婚姻が整ったのであれば、これは大変な成果、いい事業だったと思いますので、この参加者数だけでなくですね、やはり出会い、結婚を支援するわけですので、結婚まで至ったカップルが2組ということは大変私は評価していいと思います。したがって、この事業も続けるべきだったと思っておりますというコメントを申し上げます。

岩崎健二委員長

ほかにありませんか。

竹原恵美委員

お尋ねします。これ、随分書類も分析するのにも、評価をするのにも手数がかかっている、今までのやり方とは違うことで評価と結果を求めたわけですがけれども、これが阿久根市、市役所内でこれを動かすということはどれだけの価値があったのだろうか、どんなことが残ったと感じられるのか教えてください。

山下企画調整課長

説明の中でも申し上げましたが、今回から可能な限り数値化して達成度を把握しようということでこのような検証をいたしました。若干、庁内でのこの検証の経緯について申し上げますが、個別具体の検証シートに累計でA、B、C、Dの評価に合致するような形の数値化の作業を求めました。それを当課においてとりまとめ、このような検証状況を各課にまたお返しをして検証内容について確認を求めたところです。そうして庁内での評価をとりまとめ、検証委員会に報告したという状況でありますけれども、今回見直した一番大きな理由というのは、できるだけ抽象的に、定性的に把握できる指標というのももちろんございますけれども、そうしたものではなくて、可能な限り数値で定量的に把握できるものは数値化して把握することで、目標に対する達成状況がどうであったのか、見えるかを図っていつて次の業務の展開、今後の業務の展開に生かしていこうと、こういったことで今回このような見直しをしたところでありますので、客観的に自分たちの事業成果を把握していくということについては、庁内での共通認識は得られたのではないかと考えているところでございます。

竹原恵美委員

この1年間やってみて、もしかすると見える化する理念はいいんだけど、動かし方が好ましくなった、予定手間取った、結果に結びつかないなどは見られて改善とかいうところまでされるものなののでしょうか。

山下企画調整課長

やはりできるだけ客観化することによって自分たちの業務がどういう水準になるのか、どういう状況になるのかというのはある程度抽象的に把握するよりも、客観的な把握が可能になるのではないかとということでこのように設定したところでございます。もちろん事業を実施していく上ではこの指標が適当であるのかどうかということも検討の中に入れることができるのではないかと考えております。これらを総合的に考えて、今後の業務の展開に生かしていこうということで、今回、このような手法を用いたところでございます。確かに目標を設定することによって、この評価作業に時間を要した部分もございますけれども、1回こういった方向を設定しておけば同じ基準での評価が可能ではないのかなと、このように考えたところでございます。

竹原恵美委員

今、結果をいただいて、この中で継続する、または縮小する、またはふやすということがここでは出たんですが、これから次年度に対しての計画には盛り込んでいくという考えが、これと一緒に並行して動くんでしょうか。

山下企画調整課長

従来でございましたら、こういった議会の報告につきましては、昨年内にお届けして、それを翌年度の予算審議の中で参考にしていただこうということで出しておりました。今回は諸般の事情で御報告するのが遅れたところでございますが、検証結果については具体的に事業を31年度実施していく上で執行時において参考にしていきたいと思いますし、今後もまた30年度の検証を行う際にも29年度の状態と比較してどうであったのか検討していくこととしております。

岩崎健二委員長

ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

なければ以上で企画調整課長への質疑を終了します。

(企画調整課退室)

岩崎健二委員長

企画調整課への質疑が終了しましたので、ここで、検証結果に対する委員の意見を聴取したいと思います。

まずはじめに、人口の状況について、5ページになりますが、2017年も前年比454人の減と、人口減少に歯止めがかからない状況であるとの説明を受けました。また、表―1の人口動態を見ると、自然動態にはさほど変化はありませんが、昨年 of 社会動態では、転入者573人に対し転出者771人と200人近い減となっております。

この人口減少に対し、基本目標1から4までのさまざまな施策を展開してきておりますが、即効的な施策がないことも事実であります。

この人口減少に関する委員の意見を求めます。

何かありませんか。

特別な意見はありませんか。

ないですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは次に、4つの基本目標について、それぞれ基本目標ごとに委員の意見を求めます。

まず、基本目標1について、9ページになります。検証委員会からは、雇用創出者数に関し、一次産業の就業者数が伸びておらず、新規就農者に対する支援体制の整備などが重要であるとの意見が出されております。

また、基本目標1の事業検証については31ページから56ページに記載してありますが、検証委員会からはPR不足である等の意見が出されております。

それでは、基本目標1について委員の意見を求めます。

何かありませんか。

〔発言する者あり〕

中面幸人委員

今、9ページで基本目標について説明されましたけれども、委員長が持っておられる何か31ページのことなど、そういうのをよくついていけないんですけれども。何かあるんですか。

岩崎健二委員長

9ページの特記事項とか、その下に検証委員会の意見等と記してありますよね。今、このところを述べたところです。

中面幸人委員

31ページはなんですか。

岩崎健二委員長

31ページからの分につきましては、各事業の検証において検証委員会の意見を記載してあります。その中に検証委員会からピーアール不足である等の意見があるというふうに今、説明したところです。

〔発言する者あり〕

暫時休憩します。

(休憩 14:58～15:10)

岩崎健二委員長

休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

なかなか難しい中身がたくさんあるようですので、この示された検証結果に基づいて、各員、特にこのことについて意見、若しくは要望があれば述べていただければと思います。

検証結果を踏まえて、委員の意見、要望として執行部へ報告して、最終本会議で報告をしたいと。

〔発言する者あり〕

時間的な余裕ありませんので、もしそれができなければ継続審査で審議未了で終わるしかないということになってしまいますので。

中面幸人委員

地方創生はまだ途中の段階で、この中身を見てもですよ、これは結果的に相当表れてる状態でもない中で、急いで委員長報告をする必要があるんですか。

岩崎健二委員長

休憩します。

(休憩 15:11～15:26)

岩崎健二委員長

休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

企画調整課に再入室いただきまして、訂正、全体的説明をしていただきます。

企画調整課の入室をお願いします。

(企画調整課入室)

山下企画調整課長

先ほどの説明の中で、今回の評価の仕方について説明を漏らしておりましたので、目標達成の例について御説明申し上げたいと思います。資料の2ページをお開きいただきたいと思います。

目標については、先ほどの説明の中で毎年一定の数値を掲げる単年、それから5年間の累計目標を掲げる累計、そして最終年度の水準を掲げる最終という形で目標を設定しております。この表のエの中で単年の場合、ここでは特定不妊治療費助成申請者数について、単年で毎年10人の目標を掲げているところでございます。単位としては10人、年度別目標としては27年度から31年度まで各年度10人という目標を設定をしているところでございます。27年度の実績は10人に対し8人、28年度は7人、29年度は8人でありました。27年度は80%でございましたので達成評価C、28年度は70%でありましたのでD、29年度は80%でありましたのでC、このように達成状況を単年の場合分類しております。

また、累計、最終の場合、ここではたけのこ生産量を例として上げておりますけれども、基準値516トンであったものを最終年度には620トンまでに高めたい、こういう目標でございます。620トンから516トンを引きいた額を毎年度上積みしていくという形で、段階的に上げていく目標設定をしております。つまり、平成27年度は537トン、平成28年度は558トン、平成29年度は578トン、平成30年度は599トン、そして平成31年度、最終年度に620トンに高める、こういう形で目標を設定しております。この実績に対して平成27年度は633.5トンであったので、達成度が118.0%でA、28年度は558トンに対して524.2トンであったので93.9、29年度は実績が516.2トンであったので89.3となり達成評価がCとなる、こういう形で達成評価を数値化したところでございます。

それから、同じページのキについては、この達成状況を踏まえて、今後の事業の取り組みをどのようにするのか、取組の拡充・深化が適当な場合は◎、継続が適当な場合は○、改善・縮小等見直しが必要な場合は△、中止・廃止が適当な場合は×、このように評価をしたところでございます。

なお、先ほどの説明の中で一部資料に誤りがございましたので、訂正をお願いしたいと思います。これは正誤表の中に記載が漏れていた部分でございます。大変失礼いたしました。3ページの(3)の基本目標の達成評価、①のところですが、Aが1とありますが、Aが2になります。Dが1になるものでございます。それからここは基本目標の修正になりますが、7ページのところで申し上げますと、7ページの基本目標の総括表の、下の内訳表から申し上げますが、合計特殊出生率、ここは1.54%を最終年度に1.60%に持っていくという数値でありますけれども、ここについては目標を上回っておりましたので、DとありますがここはAということに修正をいただきたいと思います。この修正によって上の表の総括のところの3、安心して結婚・出産・子育てができる「笑顔あふれる」まちをつくる、のところがAの項目が空欄になっておりますがAが1、Dの1とあるのがここが0になります。そして一番下の合計欄がAが1とありますが2、Dが1、このように修正をさせていただきたいと思います。大変失礼いたしました。以上でございます。

岩崎健二委員長

質問があるようですので、これを許可します。

仮屋園一徳委員

ちょっと教えてください。この目標値についてですね、ここで言うと人口減少抑制について、2040年1万を切るとかで修正をして1万2千まで持っていこうとか、そういうのはこの目標値に反映されてるんですか、されてないんですか。それと目標値はどういうふうにして定められているのか、その辺をお聞きしたいんですけれども。

山下企画調整課長

目標値の設定についてであります。平成27年に人口ビジョン及び総合戦略のこの計画を定めております。そのときの目標については、人口についても定めておりますけれども、4つの目標ごとに、ここに掲げてある数値目標を設定をしております。例えば、先ほど申し上げました7ページの表で申し上げますと、基本目標には4つの目標が掲げてございます、上のほうに1から4まで。そして、この基本目標を達成するために下の表に数値目標を定めております。そして、13ページになりますが、この数値目標ごとにはそれぞれ3つの重点目標が定められておまして、この重点目標ごとに重要業績評価指標（KPI）が設定をされているという状況でございます。これらの個別の事業とか政策について、一つ一つ数値目標を達成し、これらの総合によって一定の人口抑制と言いますか、それを達成していこうということでこの計画を定めているということでございます。

仮屋園一徳委員

これを、7ページを見てもなんですけど、支援策による移住定住とかですね、それから子育て関係について目標について達成されているというふうになってるんですが、ただですね、

人口減少に、100%に達成してもそれがなってるのかなと。ほかの影響もあるといろいろあると思うんですけど、その辺のこと、あと評価とかどう今後生かしていくのか。それはそれぞれ議員のほうも執行部のほうも、それぞれに活用して生かしていくというような理解の仕方でよろしいんですかね。

山下企画調整課長

お答えの前に若干先ほどの説明にもかかわってまいりますけれども、資料の4ページを開きいただきたいと思います。しりょうの4ページは総合戦略の全体像ということでございますけれども、国の基本目標が4つありまして、それを受けて市では4つの基本目標を設けて、その下に重点目標をそれぞれ3つずつ設けております。この重点目標ごとに各事業を実施をしているということで、個別にこういった事業を実施することによって一つの大きな人口抑制につなげていこうというその目標を、全体的な個別の事業を実施することによって大きな目標を達成しようということでこの計画をさだめているところでございますので、今後も平成31年度まででございますけれども、この計画に従う形で評価を行いながら大きな目標を達成していくと、こういう形で進めていくこととしているところでございます。

仮屋園一徳委員

はい、わかりました。

岩崎健二委員長

企画調整課長への質疑はありませんか。

濱田洋一委員

先ほど正誤表をいただいた中で、(3)の③実施事業なんですが、達成評価のところで、Bが合計で7、Dが18というふうに訂正ということだったんですが、この内訳については、例えば◎、○、△あるんですけど、これはこういった数字になりますか。内訳を教えてください。ずれたままでなってますけど。例えばですよ、③のBを見たときに、◎が2、○が6、△が1、ただし正誤表では合計ということで訂正してくださいということでありますけれども、この内訳についてはどうでしょう。BもDもですね。

山下企画調整課長

正誤表については、合計の部分だけの正誤をお示ししておりましたので、内訳についてあともって、ここについては下の数字にあう形で訂正をさせていただきたいと思っております。

岩崎健二委員長

企画調整課長への質問はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは企画調整課長への質疑を終結します。

(企画調整課退室)

岩崎健二委員長

それでは、今示されました検証結果につきましては、平成29年度の事業であり、また決算等も終わっている事業もありますので、この事業内容につきまして委員の皆さんの意見、要望等があればそれをもって報告したいと思います。ありませんか。

竹原恵美委員

最初に説明もらったんですけども、見える化する、分析しながら事業をつくって結果を求めていくということはすごく大事な活動を始められたんだと思います。ただ、やり方とか指標が実態を把握するのに適しているかというのも検証しながら変えられていくということなので、こつこつと改善しながら続けていただきたいと思います。いい結果だと思われました。

中面幸人委員

41ページになりますけれども、資料のですね。先ほど野畑委員のほうも若干話をされましたけれども、この耕作放棄地解消対策事業を見ればですよ、例えば対象評価がA、A、

Aって、27、28、29ともなってるんですけども、これが実際、放棄地面積が約2.2ヘクタールというふうになってるんですけども。この目標値っていうのを何を基準で、例えば阿久根の耕作放棄地はこれ以上いっぱいあるのにですよ、目標値を少なく決めれば当然評価がA、A、Aで、達成した、達成したとなるじゃないですか。だから私としてはこの基準値をどういう形で決めたのか。まだ、2.2ヘクタールというのはしれたもんですよね、阿久根では。だから、この決め方はなんで決めたのか、そこあたりの基準がよくわからないので、お聞きしたいです。

岩崎健二委員長

お聞きしたいじゃなくて、もうお聞きする時間はありませんので、目標値の設定の明確化を求めるといことでよろしいですか。目標値が、例えば例にとって言うと、耕作放棄地の2.2ヘクタールという目標は少ないと思うと。その目標の設定のあり方について今後検討していただきたいといことでよろしいですか。

中面幸人委員

はい、よろしいです。

岩崎健二委員長

ほかにありませんか。

〔発言する者あり〕

いいんだったらいいようにやめて、言うんだったら言うように手を挙げてください。

濱之上大成委員

私は先ほど申し上げた件についてですがね、ちょっと補足していただきたいんですが、県の平均を勘案しているという捉え方をきいたんですが、それと同時にやっぱり問題等も関係して低く下げてるようにも感じたもんですから、そのことも考えた上ででも目標値を上げていくべきではなかろうかというふうに付け加えたいと思います。

岩崎健二委員長

ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、今までの意見、議論を踏まえ、委員から地方創生全般にわたり、重点的に実施すべき項目や新規事業等、総括的な意見があればお願いいたします。

ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

なければ、以上、委員から出された意見等をもって、本委員会での調査を終了するとともに、委員長において、とりまとめ、本会議に報告したいと思います。

お諮りいたします。

本委員会の調査報告書の作成、委員長報告及び議会だよりの本委員会に関する原稿につきましては、委員長にご一任願いたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。

よって、そのように決しました。

以上で、地方創生に関する調査特別委員会を閉会いたします。

(閉 会 15時45分)

地方創生に関する調査特別委員会委員長 岩 崎 健 二